

循環器内科 研修プログラム【必修】

1. 診療科の特徴

現在、循環器内科は常勤医師 3 名体制である。

当科で扱う疾患は、狭心症、急性心筋梗塞等の虚血性心疾患が最も多く、その他、急性心不全、不整脈、心臓弁膜症、心筋症などの心疾患や、末梢血管疾患や肺塞栓症、深部静脈血栓症等の診断・治療にも対応している。具体的には虚血性心疾患においては心臓カテーテル検査・治療（PCI）、不整脈疾患に対してはカテーテルアブレーション治療、末梢血管疾患に対しては下肢動脈血管内治療（EVT）などを積極的に行っており、診断面に関しても運動負荷心電図、心臓エコー、血管エコー、経食道心エコー、心肺運動負荷試験（CPX）、また原因不明の失神発作に対する診断法としてヘッドアップチルト試験なども行っている。

常勤医師の循環器関連専門医取得状況に関して：日本内科学会総合内科専門医 1 名、認定医 2 名、日本循環器学会専門医 3 名、臨床研修指導医 2 名、日本心血管インターベンション学会専門医 2 名、日本超音波医学会専門医・指導医 1 名、心臓リハビリテーション指導士 1 名

2. 研修の受け入れ可能期間

2 年次研修医を 2 ヶ月もしくは 3 ヶ月間受け入れる。原則同一期間中は 1 名とする。

3. 研修の目標

指導医の下、以下の如く、循環器疾患診療に最低限必要とされる知識と技術の習得を図ることを目標とする。

- ① 循環器疾患の特徴的な症状や病歴、聴診などの身体所見の取り方を習得する。
- ② 指導医の下、救急外来での状況に応じた診察、診断、治療を行う。電氣的除細動や中心静脈カテーテル挿入技術を習得する。
- ③ 12 誘導心電図の判読、胸部レントゲン写真の読影、心エコー検査の施行と読影、運動負荷試験・心臓核医学検査・心血管 CT・MRI 等の読影技術を習得する。
- ④ 心臓カテーテル検査の適応、結果を理解できるようになり、検査の助手もしくは術者手技の一部（動脈穿刺など）のトレーニングを開始する。
- ⑤ 循環器系薬剤の使用法、重症患者の全身管理方法などを習得する。

4. 週間スケジュール

月曜日 午前：回診、心臓核医学検査、心エコー 午後：心カテ

火曜日 午前：回診、心エコー 午後：心カテ

水曜日 午前：回診、心エコー 午後：心臓リハビリ

木曜日 午前：回診、心エコー 午後：心カテ

金曜日 午前：回診、心エコー、心カテ(アブレーション) 午後：心カテ (アブレーション)

※不定期にペースメーカー手術、経食道心エコー、ヘッドアップチルト試験あり